

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	大谷 巳弥子
調査者名	大谷	垣内	久門	鶴田	

文化財名	笛吹神社イチイガシ林				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1987年(昭和62)3月10日				
所在地	葛城市笛吹448				
所有者 管理者	葛木坐火雷(かつらきにいますほのいかづち)神社=笛吹神社				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) イチイガシ			(樹齢) 長いもので推定約400年	
案内板の状況	有り				
公開	見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	持田照久宮司によると、1998年(平成10)の台風7号の強風で、多くの木が倒れたそう。それ以前は、境内の空が薄暗く感じるほど葉が生い茂っていたとのこと。今は、小木が育ってきているそうで、これらが無事に大きく成長することを祈る。				
今後の課題	自然林なので、自然に委ねるしか無い。自然災害が起きないことを願う。				
その他 (由緒など)	元は火雷大神を祀る「火雷神社」と笛吹連の祖神天香山命を祀る「笛吹神社」が別々に祀られていたところ、現在は合祀されて主祭神二座(火雷神・天香山命)となっている。火雷神が火の神様であることから、火を扱う職業の方からの崇敬を集め、天香山命が笛吹連に繋がることから、笛・フルート・尺八等楽器上達を願う方からの崇敬が篤いという。毎年1月2・3日には奉納演奏が行われるそう。				
コメント	古代、奈良盆地周辺の扇状地にはイチイガシ林が多かったが、開発によりほとんど失われてしまったため、このイチイガシ林はとても貴重なものという。是非長く保全していただきたいと願う。 境内 でひときわ目を引くのが大砲。1909年(明治42)に日露戦争の戦勝記念品として政府から奉納されたロシア製の大砲で、当時日本各地の神社や主要施設に奉納されたが、太平洋戦争時に供出されたり、戦後進駐軍に引き上げられたりしたそう。大砲が炸裂する時の「火」と「音」の由縁で、この神社に残されているかのようだ。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	大谷 巳弥子	
調査者名	大谷	垣内	久門	鶴田		

文化財名	笛吹神社イチイガシ林
------	------------

笛吹神社南側正面。鳥居右の大木がイチイガシ



拝殿への登り口



拝殿下の空を覆う林



イチイガシ林の説明板



境内東側の林



日露戦争記念のロシア製大砲

